

治山事業請負契約書（案）

- 1 事業名 宮城北部沿岸（保育）治山工事
- 2 事業場所 宮城県東松島市牛網字大浮足国有林 548 林班外
- 3 事業量 下刈 32.46ha つる切 14.96ha 伐開 11312.7m²
- 4 事業期間 契約日の翌日から
令和 6 年 1 月 20 日まで
ただし、作業種別又は箇所別の事業期間は、別紙事業内訳書のとおり
- 5 請負金額 金 円也
(うち取引に係る消費税及び地方消費税（以下「消費税」という。）額
金 円也)
〔注〕（ ）の部分は、請負者が課税業者である場合に使用する。
- 6 技術提案事項の履行確保
別紙 1 のとおり
- 7 選択条項 別冊約款中选择される条項は次のとおりである。
(適用されるものは○印、削除されるもの×印。)

適用削除の区分	選択事項		選択条項
	契約保証金の納付		第 4 条第 1 項第 1 号
	契約保証金の納付に代わる担保となる有価証券等の提供		第 4 条第 1 項第 2 号
	銀行、発注者が確実と認める金融機関等の保証		第 4 条第 1 項第 3 号
	公共工事履行保証証券による保証		第 4 条第 1 項第 4 号
	履行保証保険契約の締結		第 4 条第 1 項第 5 号
×	支給材料及び貸与品		第 15 条
	部分払	月 1 回以内	第 38 条
	前金払	分の 以内	第 35 条第 1 項
×	中間前金払		第 35 条第 3 項
×	国庫債務負担行為に係る契約の特則		第 40 条

8 特約事項

上記の事業について、発注者と請負者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び令和6年4月18日に交付した国有林野事業造林事業請負契約約款によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、請負者が共同事業体を結成している場合には、請負者は、別紙共同事業体協定書により契約書記載の事業を共同連帯して請け負う。

本契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

発注者 住所 宮城県大崎市古川東町5-32
分任支出負担行為担当官
宮城北部森林管理署長 泉 光博 印

請負者 住所
氏名 印

[注] 請負者が共同事業体を結成している場合においては、請負者の住所及び氏名の欄には、共同事業体の名称並びに共同事業体の代表者及びその他の構成員の住所及び氏名を記入する。

技術提案事項の履行確保

受注者は、令和 年 月 日付けで提出のあった技術提案書で提示した技術等については、次のとおり評価された項目及び内容の履行を確保するものとする。

項 目	評価	内 容
事業計画の工程		管理事業計画の工程管理及び工程管理に係わる工夫・提案
事業の計画・実施に係わる提案事業計画		事業計画上の考慮事項に係わる工夫・提案
		自然環境への配慮、生産性向上に係わる工夫・提案
		品質管理に係わる工夫・提案
		安全対策に係わる工夫・提案

(注) 評価された項目について (○印) を記載

事業内訳書

宮城北部沿岸(保育)治山工事

記入 番号	作 業 種 及 び 作 業 手 段	林 班	面 積	単 位	事 業 期 間	担 当 区	備 考
1	下刈(刈払機+人力)	548	27.79	ha	2回刈地区 1回目: 契約日の翌日から6月30日まで 2回目: 8月1日から10月20日まで ※2回刈地区は備考欄に記載 それ以外(1回刈地区、つる切) 契約の翌日から10月20日まで	石巻	
2	下刈(刈払機+人力)	548*2	1.33	ha		石巻	2回刈2回目
3	下刈(刈払機+人力)	549	3.24	ha		石巻	
4	下刈(刈払機+人力)	549*2	0.10	ha		石巻	2回刈2回目
	計		32.46	ha			
1	つる切(刈払機+人力)	548	10.11	ha		石巻	
2	つる切(刈払機+人力)	549	4.85	ha		石巻	
	計		14.96	ha			
1	仮設工(伐開1種)	548林班	11312.70	m2	契約日の翌日から11月20日まで	石巻	
	計		11312.70	m2			

※末尾に「*2」表記のある箇所は2回刈の2回目とする。

造林（治山）事業特記仕様書

造林事業記録写真仕様書

(写真の提出)

1. 作業記録写真は、地拵、植付、仮植、各保育作業の管理に役立たせるために撮影するものであり、作業の過程・経過を記録し、整理編集の上、監督員に提出しなければならない。
なお、提出部数については、造林事業については2部、治山事業については3部、提出するものとする。

(準備器材)

2. 写真撮影にあたり準備する器材は、次のとおり。
ア 写真機（予備を用意しておく）
イ 作業種、林小班、面積、撮影日時、その他記事欄を表示した黒板。
ウ 植付苗木の規格を測定する際には、スケール等を使用する。

(写真撮影)

3. 写真撮影に当たっては、次の各号に留意しなければならない。
ア 被写体には、必ず2.イの所要事項を記入した黒板を添えなければならない。
イ 撮影後はできるだけ速やかに現像焼付けを行い、目的どおり撮影されているかを確認しなければならない。
ウ 提出する写真のサイズは、原則としてサービスサイズ(7.6cm×11.2cm)以上のカラー写真とし、必要に応じてこれらのつなぎ写真とする。
エ 作業前・作業後は同位置において撮影するものとし、撮影位置に目印を付けておくこと。
オ 作業前、作業中、作業後の状況を、全箇所（小班）を撮影することとする。

(写真整理)

4. 撮影箇所毎（作業前・作業中・作業後）に順序よく編集し、四ッ切以上のフリーアルバムに貼付、台紙記事欄に作業内容を記述し、黒板の不明瞭なものは、黒板記載事項及び作業内容を記述する。

(デジタル写真)

5. デジタルカメラを使用する場合には、次の各号に留意しなければならない。
ア 画像の信憑性を考慮し、原則として画像編集は認めない。ただし、監督員の承諾を得た場合は、回転、パノラマ、全体の明るさの補正程度は行うことができる。
イ 記録形式はJ P E Gとし、圧縮率、撮影モードについては監督員と協議の上決定する。
ウ 有効画素数は、黒板の文字及びスケールの数値等が確認できることを指標とする。
エ 印刷物を納品する場合は、フルカラーで、インク、プリント用紙等は通常の使用で3年間程度以内に顕著な劣化が生じないものとする。

(その他)

6. この仕様書によりがたい場合又は明記していない事項がある場合は、監督職員にその事由を申し出て、指示を受けなければならない。

下刈作業仕様書

(放射線障害防止措置)

- 1 請負者は、「東日本大震災により生じた放射線物質により汚染された土壌等を除染するための業務等に係る電離放射線障害防止規則」(平成23年厚生労働省令第152号)に基づき、除染等業務従事者又は特定線量下業務従事者に対し適切に放射線障害防止措置を講じなければならない。

(区域の標示)

- 2 作業地の区域は別紙図面のとおりであり、現地の区域は収穫調査時に境界付近にある区域外林縁立木に赤スプレーを塗付するとともに、区域外林縁立木の要所に、収測番号札等を付して標示しているが、不明な箇所については監督職員の指示を受けなければならない。

(刈払い)

- 3 刈払いに際しては、植栽木等を損傷しないよう特段の注意をはらわなければならない。
 - (1) 植栽木等の生育に支障となるササ、雑草木、つる類、その他の植生を除去するため、全刈を行わなければならない。
ただし、有用天然木については原則保残しなければならない。
また、溪畔周辺については、草類のみを刈払い、灌木類については刈払わないこと。
 - (2) 刈払いの方向は、植栽木の折損を防止するため、植列に沿って行うが具体的には監督職員の指示に従わなければならない。
 - (3) 刈高は周辺植栽木の高さ1/3以下とすること。
 - (4) 植栽木等にかままっているつる類は根元から取り除くこと。
 - (5) 二又以上の植栽木等を発見した時は、生育旺盛な、形質のよいものを残して1本立てとし、分かれ目をできるだけ短くして切除しなければならない。
 - (6) 刈払後15日を経過しない期間内に一部完了届を提出し、部分検査を受けなければならない。
また、2回刈作業の場合は、1回目刈払い終了後の一部完了検査を受けてから着手しなければならない。

(苗木の許容損傷率)

- 4 下刈作業における苗木の許容損傷率は下記のとおりとする。

樹 種 \ 林 令	1 (2)	2 (3)	3 (4)	4 (5)	5 (6)	6 (7)
スギ	8 %	8 %	6 %	6 %	4 %	4 %
カラマツ	8	8	6	6	4	4
その他針	8	8	6	6	4	4
広葉樹	8	8	6	6	4	4

林令 () は秋植の場合

- 5 上記の許容損傷率を超えた場合は、その超えた率に応じて、調査の上当局で定める幼齢補償により算定した額を損害賠償として請求するものとする。
ただし、許容損傷率を確保するに見合う苗木(林齢相当)本数を、請負者が補植出来る場合には、損害賠償を請求しないものとする。(植栽時期を考慮して植付を実行するが具体は署の指示による)

(作業歩道の作設)

- 6 作業歩道は、幅員0.5mの刈払いを行い、歩行に支障のないように刈払物を取り片付けしなければならない。

(有用天然木の範囲)

- 7 針葉樹ーヒバ、アカマツ、クロマツ、モミ、スギ、カヤ、イチイ、ネズコ等
広葉樹ーブナ、イヌブナ、クリ、コナラ、ミズナラ、サワグルミ、ウダイカンバ、オノオレカンバ、ミズメ、シナノキ、センノキ、ミズキ、ヤチダモ、イヌエンジュ等

(その他)

- 8 この仕様書によりがたい場合又は明記していない事項がある場合は、監督職員にその事由を申し出て、指示を受けなければならない。

つる切作業仕様書

（放射線障害防止措置）

- 1 請負者は、「東日本大震災により生じた放射線物質により汚染された土壌等を除染するための業務等に係る電離放射線障害防止規則」（平成23年厚生労働省令第152号）に基づき、除染等業務従事者又は特定線量下業務従事者に対し適切に放射線障害防止措置を講じなければならない。

（区域の標示）

- 2 作業地の区域は別紙図面のとおりであり、不明な箇所については監督職員の指示を受けなければならない。

（作業の方法）

- 3 造林木等の生育に支障となるつる類は、出来る限り抜き取るものとし、つる類の種類、形状、その他現地の状況等により、抜き取る事が困難な時は、なるべく根元近くから切断するものとする。
- 4 つるを抜き取り又は切断した後に造林木等に巻き付いている部分をていねいに取り除くこと。
この場合、造林木等を損傷（とくに樹皮や頂芽）しないように注意すること。

（その他）

- 5 この仕様書によりがたい場合又は明記していない事項がある場合は、監督職員にその事由を申し出て、指示を受けなければならない。

刈払機作業時の安全対策に係る特記仕様書

別紙に定める様式に従い、事業計画書中に『刈払機作業時の安全確保対策』を追加し提出すること。

刈 払 機 作 業 時 の 安 全 確 保 対 策

使用機械及びタイプ別リスクとその対策

[illegible]

刈 払 機 作 業 時 の 安 全 確 保 対 策 （ 凡 例 ）

使用機械及びタイプ別リスクとその対策

使用機械タイプ	リ ス ク	安 全 対 策
腰付・U字ハンドル	U字ハンドル接合部分に金属疲労が生じている可能性がある。	日々の始業時に点検する。
背負式・U字ハンドル	体のバランスを崩したとき又は転倒した際に自らの体を切創する危険性がある。	切創防止のために臍あて等の完全着用を図る。
櫛がけ・U字ハンドル	体のバランスを崩したとき又は転倒した際に自らの体を切創する危険性がある。	股バンドを使用することにより刈刃が体に接触することを未然に防止する対策を講じる。
背負式・竿タイプ	体のバランスを崩したとき又は転倒した際に自らの体を切創する危険性がある。	急傾斜地での使用を制限する。機械タイプ・ハンドルタイプの変更を検討する。
櫛がけ・竿タイプ	体のバランスを崩したとき又は転倒した際に自らの体を切創する危険性がある。キックバック時に機械をコントロールできなくなり災害の原因となる可能性がある。	災害事例を周知することにより、自らを傷つけてしまう恐れのある機械作業であることを各自に意識させるとともにセーフティパンツ着用を図る。

※表中の項目毎の大きさは任意による。

工 種 別 数 量 内 訳 書

宮城北部沿岸（保育）治山工事

宮城北部森林管理署

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量
森林整備		式	1
保育工（浜市）		式	1
下刈工		式	1
下刈		h a	29.12
つる切工		式	1
つる切り		h a	10.11
仮設工		式	1
伐開		m2	11312.7
保育工（野蒜）		式	1
下刈工		式	1
下刈		h a	3.34
つる切工		式	1
つる切り		h a	4.85
直接工事費		式	1
共通仮設費計		式	1
共通仮設費（率計上）		式	1
純工事費		式	1
現場管理費		式	1
工事原価		式	1
一般管理費等		式	1

[illegible]

◎ 下刈工条件因子表

記 入 番 号	林 小 班	面 積 32.46(ha)	人 力 機 械 別 人力-1 機械-2	経過年数 植生密度 1～2年-1 3～4年-2 5年上-3	植生混入 割合 疎-1 中-2 密-3	傾 斜 補 正 緩-1 中-2 急-3	通 勤 補 正		つ る 補 正 易-1 中-2 難-3	植栽木 確 認 易-1 中-2 難-3
							人 員 輸 送 車 片道距離 19.4(km)	徒歩往復 所要時間 16(分)		
1	548	27.79	2	1	1	1	3.1	4	2	1
2	548*2	1.33	2	1	1	1	3.1	4	1	1
3	549	3.24	2	1	1	1	6.6	4	2	1
4	549*2	0.10	2	1	1	1	6.6	4	1	1

※末尾に「*2」表記のある箇所は2回刈の2回目とする。

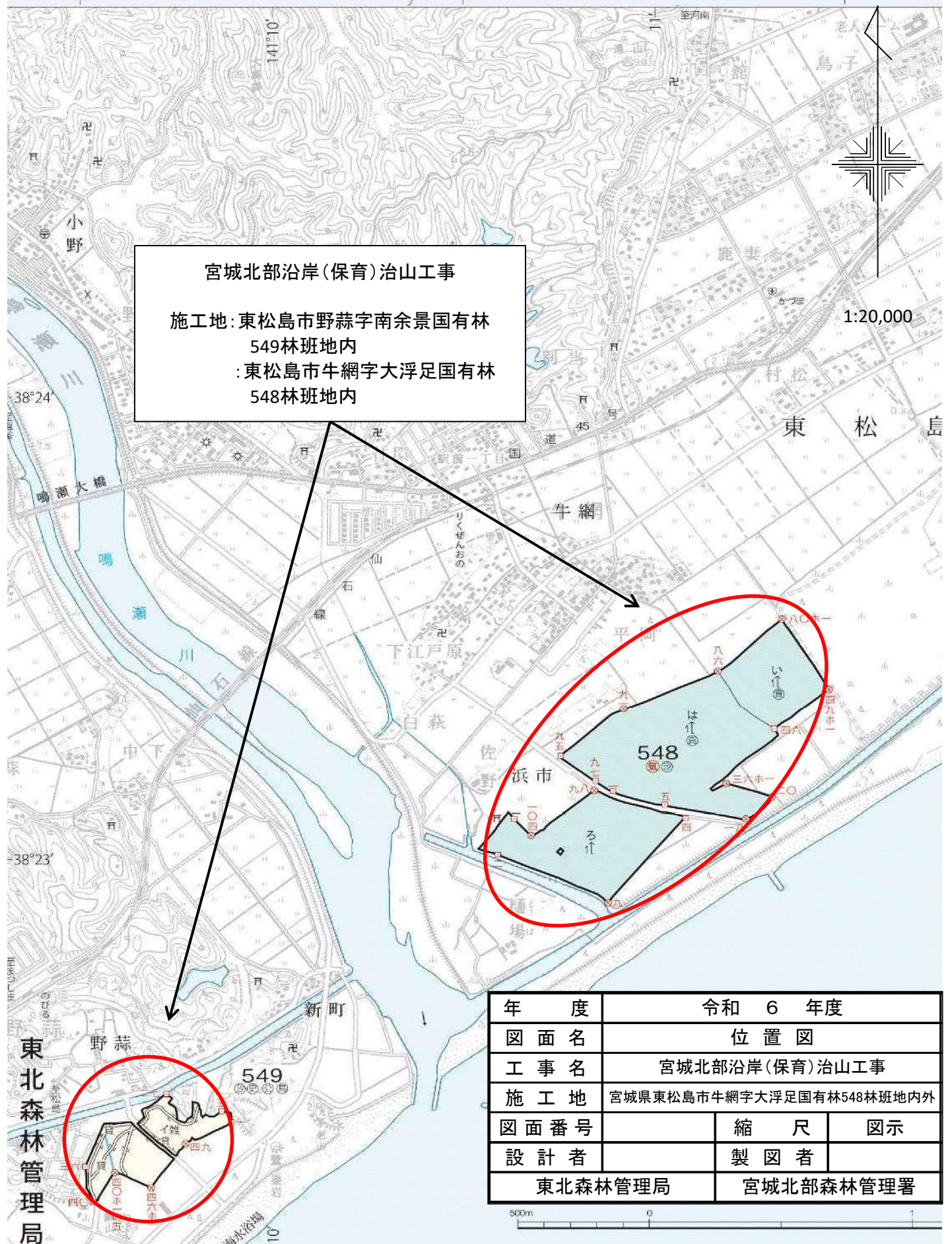
◎ つる切工条件因子表

記 入 番 号	林 小 班	面 積 14.96(ha)	人 力 機 械 別 人力-1 機械-2	傾 斜 補 正 緩-1 中-2 急-3	通 勤 補 正	
					人 員 輸 送 車 片 道 距 離 9.7(km)	徒 歩 往 復 所 要 時 間 8(分)
1	548	10.11	2	1	3.1	4
2	549	4.85	2	1	6.6	4

位置図

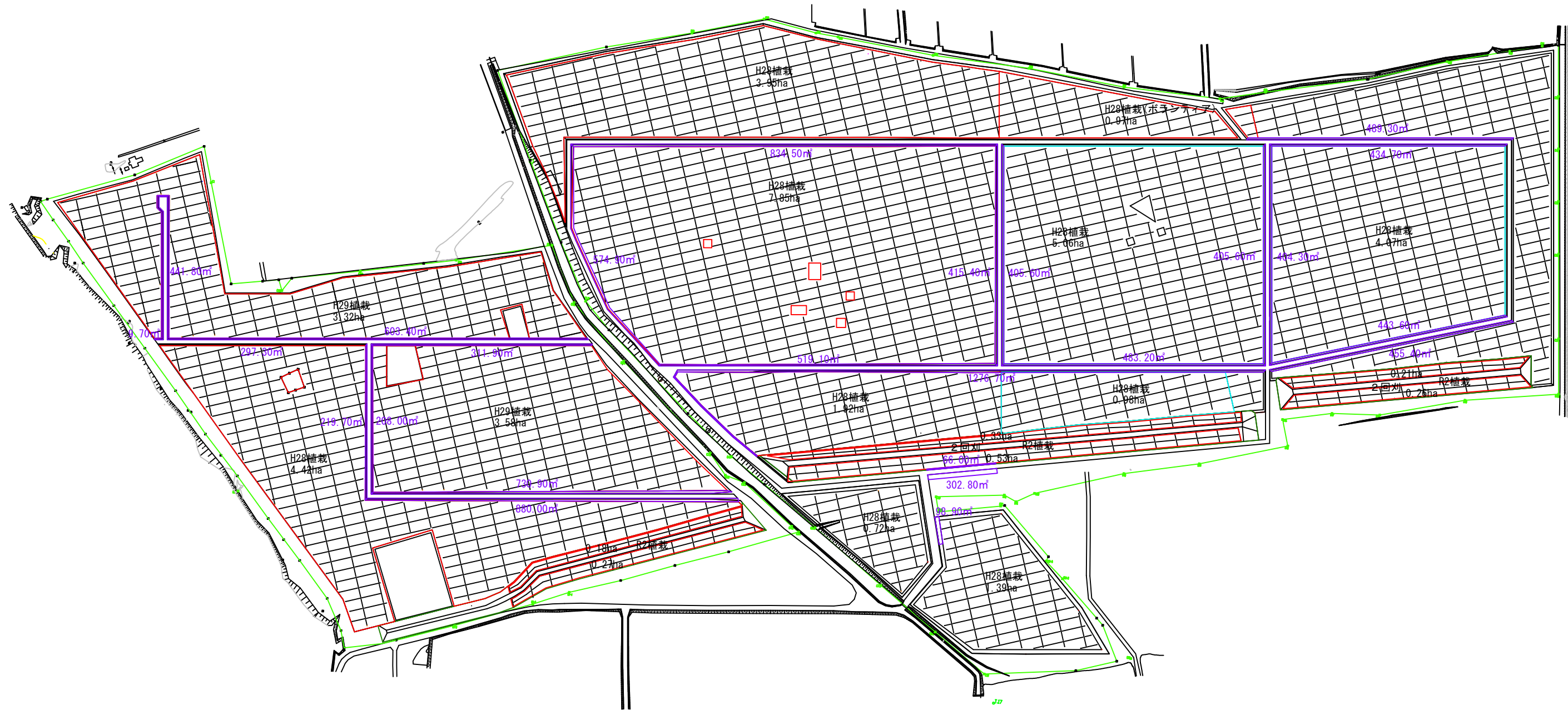
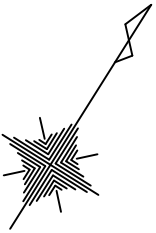
宮城北部沿岸(保育)治山工事

施工地: 東松島市野蒜字南余景国有林
549林班地内
: 東松島市牛網字大浮足国有林
548林班地内



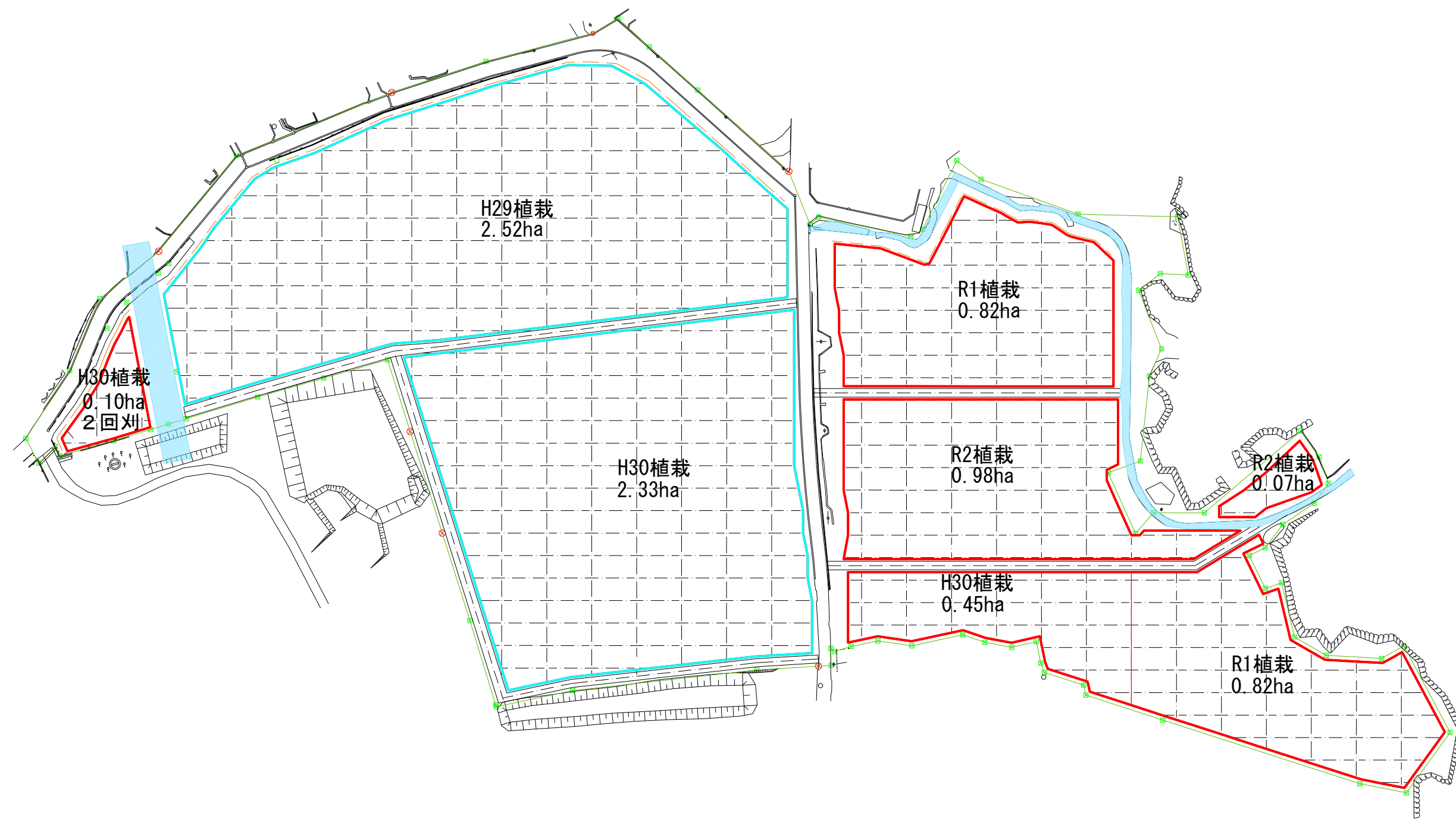
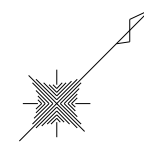
年 度	令和 6 年度		
図 面 名	位 置 図		
工 事 名	宮城北部沿岸(保育)治山工事		
施 工 地	宮城県東松島市牛網字大浮足国有林548林班地内外		
図 面 番 号		縮 尺	図 示
設 計 者		製 図 者	
東北森林管理局		宮城北部森林管理署	

浜市地区 平面図



<div></div>	下刈工	29.12ha
<div></div>	つる切り	10.11ha
<div></div>	植栽工	0.00ha
<div></div>	伐開工	11312.7㎡

年 度	令和 6 年度	
図 面 名	浜市地区 平面図	
施 工 地	宮城県東松島市牛綱字 大浮足国有林548林班地内	
工 事 名	宮城北部沿岸（保育）治山工事	
図面番号	1枚の内1	縮 尺
設 計 者		製 図 者
東北森林管理局		宮城北部森林管理署



- 下刈工 3.34ha
- つる切工 4.85ha



年 度	令和 6 年度		
図 面 名	野蒜地区 平面図		
施 工 地	宮城県東松島市野蒜字 南余景国有林549林班地内		
工 事 名	宮城北部沿岸（保育）治山工事		
図面番号	1枚の内1	縮 尺	
設 計 者		製図者	
東北森林管理局		宮城北部森林管理署	